

【大学院後期課程 生活工学共同専攻】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7401030A6	生活工学特別講義A(発展)	久保 博子・才脇 直樹	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	1単位	大学や企業等の最先端の研究者を招待講演者として招き、与えられる課題に取り組むことで自身の研究テーマとの結びつきを発見することで、学際的な生活工学の観点から討論を行う。
7401040A6	生活工学特別講義B(発展)	生活工学共同専攻教員(お茶大)	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	1単位	生活工学に関わる最新の話題に関し、担当教員が講義するとともに、大学や企業、研究機関等の研究者等による研究事例紹介を通じて学ぶ。博士論文として研究内容を完成させるための観点から講義をうけ理解する。
7401070A6	研究者倫理(発展)	生活工学共同専攻教員(お茶大)	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	1単位	専門的な知識や技能と同様に、倫理は専門職としての研究者にとって不可欠な基盤の一つである。そこで本講義では、具体的な事例を交えながら、研究者として研究活動を行う上で必要な研究者倫理について学ぶ。また、ケーススタディを通じて倫理的問題への対応方法について理解する。
7401080A6	技術者倫理(発展)	才脇 直樹・黒子 弘道	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	1単位	博士前期課程の技術者倫理では問題を理解するための基礎知識の取得に取り組んだが、本講義はその発展として関連する各種法律を概観し、技術者倫理との関連性について事例に基づき理解を深める。
7401090A6	研究倫理・研究マネジメント	博士後期生活工学共同共通	お茶女/奈良女	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	1単位	前半は、主に基礎知識の習得と確認を行い、後半は、実験倫理審査書類に記入する事項や、科学研究費補助金の申請時に作成する研究計画調書に記入する事項といった具体例を参考にしながら、研究倫理および研究マネジメントについて、実地に学ぶ。
7401100A6	研究計画演習(発展)	生活工学共同専攻教員(お茶大)	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	1単位	本講義では、研究を具体的に計画し、進める際に、何をポイントに考えればよいか、また、それをどのように文章や図で表現すれば良いかを学ぶことを目標とします。研究をプランニングし効果的に発信する方法を学んでください。
7401130A6	知的財産論(発展)	生活工学共同専攻教員(お茶大)	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	30時間	1単位	生活工学諸分野における研究開発と知的財産管理・活用の結びつきについて理解する。また、情報検索・分析によって、研究推進のために特許情報を活用する方法を学ぶ。
7402010A6	繊維素材分子論	黒子 弘道	生活環境科学系	前期 火曜日 3・4時限 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	繊維素材の力学特性、熱特性、吸水性等の諸物性は繊維の高次構造に大きく依存する。固体高分解能NMR測定により得られる化学シフトだけでなく、量子化学計算(理論計算)により得られる化学シフトの情報を併用する事によりさらに詳細な高次構造に関する情報を引き出す事ができる。また、磁気緩和時間測定から得られた分子運動性の情報が得られる事から、磁気緩和時間の情報を基に、化学シフトの理論計算を併用した高分子鎖の詳細な高次構造の解析方法を講述する。
7402020B6	繊維素材分子論演習	黒子 弘道	生活環境科学系	後期 火曜日 3・4時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	The students will read and understand research papers on fiber materials, and discuss and debate their contents.
7402061A6	生体反応設計論	三方 裕司	生活環境科学系	前期 火曜日 9・10時限 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	生体内で起こっている酵素反応あるいはそのモデル化反応についての研究方法および反応設計について講義する。
7402062B6	生体反応設計論演習	三方 裕司	生活環境科学系	後期 火曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	「生体反応設計論I」での講義内容をもとに、生体内で起こっている酵素反応あるいはそのモデル化反応、また薬剤と生体物質との反応についての最新の学術論文を輪読し、その研究方法および反応設計についての議論を通して理解を深める。
7402070A6	環境材料機能学	生活工学共同専攻教員(お茶大)	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	衣住環境に関連する高分子機能材料について学ぶ。高分子材料の機能化に関わる基礎的な物理化学的事項について、概説と、いくつかの新しい機能材料についてのトピックを通じて理解する。高分子中の低分子の吸着拡散現象、静電相互作用、疎水性相互作用、反応場としての高分子などを考える。
7402080B6	環境材料機能学演習	生活工学共同専攻教員(お茶大)	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	衣住環境に関連する高分子機能材料の実際を演習を通して見ていく。最新の機能材料に関する文献を選び、それに基づき内容を理解する。機能材料の機能発現機構を理解するとともに、機能材料設計の考え方を身につける。
7402090A6	衣工学	生活工学共同専攻教員(お茶大)	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	衣服の製造や機能に関わる先端の工学について知る。高機能繊維材料、衣服の衣内気候や運動適合性の最適化、衣服のデザインや感性的側面への生活工学的アプローチなどについて理解する。
7402100B6	衣工学演習	生活工学共同専攻教員(お茶大)	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	衣服製造に関わる技術に関して、文献輪講などを行い、最新の技術動向を知る。また衣服に対して現在ある社会的ニーズを調べ、それらに対する生活工学的視点からの対応を考える。具体例としては、高齢化社会に向けての衣服設計など。
7402110A6	人間情報学	才脇 直樹	生活環境科学系	後期 水曜日 3・4時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	最新論文及び学会誌等に掲載された専門解説記事を毎回一つとりあげ、その技術背景や研究手法、成果などについて教員が解説しつつ、参加者全員で議論と理解を深めるインタラクティブ授業である。事前に論文や記事は指定・配布されるので予習を行い、授業中質疑応答に積極的に参加し、授業後それぞれが毎回のテーマについてまとめたレポートを提出する形式で理解の深化をはかる。
7402120B6	人間情報学演習	才脇 直樹	生活環境科学系	前期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	担当教員と相談の上で、各自フィールドワークやコンテンツ制作、ハードやソフトの製作演習に取り組む。最終プレゼンテーションを含めた総合演習形式で実施する。
7402130A6	知能情報処理論	吉田 哲也	生活環境科学系	後期 木曜日 5・6時限	講義	1年次以上	2時間	2単位	サポートベクターマシンに代表される教師あり学習手法やk-平均法に代表される教師なし学習手法など、機械学習やパターン認識における最新の手法について学ぶ。
7402140B6	知能情報処理論演習	吉田 哲也	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	The students will apply the methods they learned in the Intelligent Information Processing Theory course on data regarding human and living environments. They will themselves examine research and assessment methods, and carry out related discussions.

【大学院後期課程 生活工学共同専攻】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7402150A6	五感情報処理論	佐藤 克成	生活環境科学系	前期 木曜日 7・8時限 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	人間は五感を通して外界を認識することにより生活を実現しており、生活工学の設計において五感の知覚メカニズムの理解は欠かせない。本講義では、五感の知覚メカニズムの基礎について、神経生理学と心理物理学の側面から理解する。さらに、単一の感覚における錯覚現象や、多感覚間相互作用について考察する。
7402160B6	五感情報処理論 演習	佐藤 克成	生活環境科学系	後期 木曜日 7・8時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	An understanding of human multisensory perception mechanisms will foster the students' abilities to make appropriate designs for devices and environments involved in daily life. Illusions and multisensory interactive effects play a major role in design simplification and rationalization. We will consider the relationships between sensory information and daily life by analyzing research and product examples.
7402190A6	環境生理心理論	久保 博子	生活環境科学系	前期 月曜日 9・10時限 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	生活環境の生理心理への影響また、行動的反応について、生活工学分野の環境工学・人間工学の視点で検討した学術論文を主な題材として輪読を行い、議論する。
7402200B6	環境生理心理論 演習	久保 博子	生活環境科学系	後期 月曜日 9・10時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	生活環境の人間生活への影響に関する実験やフィールド調査等を取り上げ、学術雑誌や専門書を主な題材として輪読と討論を行い、科学的思考と問題解決能力を養成し、生活工学デザインへの応用事例を考察する。
7402210A6	建築材料性能特論	藤平 真紀子	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	建築材料に要求される諸性能のうち、建築各部位に特徴的な性能について講述する。さらに、建築材料に関する既往の研究報告を例題にしながら建築にかかわる人間工学に関する知識を習得するとともに、研究手法や研究成果について考究する。
7402220B6	建築材料性能演習	藤平 真紀子	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	建築材料の性能評価に関する既往の研究報告を参照し、実験方法や解析方法をもとに演習を行い、性能評価の研究に関する実践的な知識や技術を習得する。
7402230A6	居住環境管理論	藤平 真紀子	生活環境科学系	前期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	良好な居住環境を維持するとともに、継承していくことが求められている。本講義では、居住環境を構成する住宅に着目し、住宅の耐久性および持続可能な継承のあり方について、維持管理面から論じる。
7402240B6	居住環境管理論 演習	藤平 真紀子	生活環境科学系	後期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	居住環境の管理について、現場での測定や観察および聞き取り調査から実態を把握する。そして、住宅、おもに木造住宅の耐久性向上および持続可能な継承のあり方について、維持管理面から検討する。
7402250A6	居住空間構成計画論	藤田 盟児	生活環境科学系	前期 木曜日 1・2時限 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	人間と環境の関係を示す基本的文献や理論から、居住空間の構成がもつ多面性や多様性を理解するための理論、考え方、研究方法を講義する。それに基づいて文献輪読の担当範囲を自学自習して、その他の箇所の解説や理論的關係について自問自答形式の学修を行わせる。
7402260B6	居住空間構成計画論演習	藤田 盟児	生活環境科学系	後期 木曜日 1・2時限	演習	1年次以上	2時間	2単位	研究テーマに沿って、必要な演習を行う。演習には、修理現場や調査現場での実習も含まれる。
7402270A6	環境衛生工学特論	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	水の消毒技術や物理化学的水処理、水使用量調査に関して最新情報を含めて検討する。わが国で実施されている事例について知り、その特徴および問題点を比較検討する。また海外事例なども把握し、日本の事例と比較しながら消毒技術などの適用性についても深く学ぶ。
7402280B6	環境衛生工学演習	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	水の消毒技術や物理化学的水処理、水使用量調査分野に関する最新の研究文献を読み、要点をまとめるとともに、疑問点、問題点を抽出する。演習ではこれらについてレポートするとともに、抽出された疑問点について生活工学的な観点から議論する。抽出された問題点については、その解決方法を具体的な研究計画として提案する。
7402290A6	ライフサイクルアセスメント	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	環境評価手法、LCAに関して最新情報を含めて講義する。国内外で実施されている事例について知り、その特徴および問題点を検討する。ケーススタディー例を把握するとともに、事例間で比較しながら、環境評価の適用性などについても深く学ぶ。
7402300B6	ライフサイクルアセスメント演習	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	コンピュータを用いた数値解法やシミュレーションを学ぶことにより、LCA手法を実際に行う技術を身につける。さらにそれらに関するケーススタディーを独自に立案し、リスク評価およびLCAを実践する。その過程において生活工学の分野における実用的な知識として身に付ける。
7402310A6	建築計画論	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	講義前半では、計画言論など古典的な建築計画学の手法をレビューし、後半では環境心理学や質的調査手法などについて学び、生活工学の視点から、その融合手法について考える。
7402320B6	建築計画論演習	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	講義前半では調査手法の確認と調査対象の選定を行い、その後実際のフィールドにて調査を実施、最終的に調査結果のまとめとプレゼンテーションを行う。
7402330A6	建築環境論	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	最近の研究論文、文献を講読し、快適性の実現と環境共生という両観点から、建築に求められる環境性能を講義する。適宜技術が応用された最新の具体的事例を取り上げ、評価、検討を行う。
7402340B6	建築環境論演習	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	音（聴覚）、色（視覚）、温熱環境について、テーマを定め、調査（実験）計画を立て、それに基づき、調査（実験）を行う。既往研究との比較検討も行う。これらの結果から、居住空間の環境要素を把握し、建築設備への提案を検討する。
7402350A6	建築設計学	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	建築設計の理論、ならびに建築意匠の分析について、論文講読や文献講読を主とした講義および輪講をおこなう。建築の設計に有効な知識および技術を修得する。

【大学院後期課程 生活工学共同専攻】

2023年度 開講科目概要

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7402360B6	建築設計学演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	傑作といわれる建築作品が創造された過程を、生活工学の視点から実践と思考の相互作用としてとらえ、調査分析する。そのうえで具体的な実作の設計の実践を理論的に分析、評価する。
7402361A6	デザイン工学論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	詳細はこちら http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/
7402362B6	デザイン工学論演 習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	詳細はこちら http://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/
7402370A6	生活支援工学	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	少子高齢社会に進む流れの中、誰にでも使いやすい生活支援技術が求められる。低侵襲性計測技術、ロボット技術による生活支援、健康支援工学の各分野における最先端の研究開発事例の解説を通じて、生活者と支援技術の関わりを理解する。
7402380B6	生活支援工学演 習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	生活支援工学の実践においては、Quality of Lifeの向上をはかりつつ、ユーザに優しい（侵襲の低い）機器システムを開発する必要がある。そのためには試作システムを現場・臨床に持ち込んで評価する必要がある。生活支援工学の講義で解説した各開発テーマについて、最新の研究論文を選び抄読形式による演習を行う。
7402390A6	生活環境史特論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	人類誕生以来の衣・食・住の歴史について、環境変動および人類の移動・拡散に伴う身体の進化や文化の進歩を踏まえて捉え、それらの関連について理解を深める。これらを解明するために、遺跡から出土した考古学的資料について、理化学的な手法を用いて分析した研究例が数多くある。そのような研究例をいくつか挙げ、手法の原理についても学ぶ。また、過去の環境変動に関しては、どのようなものが試料となり、どのような分析方法により何がわかるか、結果の解釈のしかたに至るまでを学ぶ。
7402400B6	生活環境史演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	人類誕生以来の衣・食・住の歴史について、環境変動および人類の移動・拡散に伴う身体の進化や文化の進歩を踏まえて捉え、それらの関連について理解を深めるため、それらに関する研究論文を読みこなす力を養う。衣・食・住の具体的な歴史的証拠についての研究例を用い、資料、分析方法、解釈について読み取るとともに、論文としての記述のしかたを含めて演習する。さらに、同様の手法を用いて、新たな応用例を探り、アイデアを出し合う。
7402401A6	身体行動・健康論	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	身体的行動が現代の健康と社会の課題にどのように影響するかについての概要を示しています。
7402402B6	身体行動・健康論 演習	生活工学共同専 攻教員（お茶 大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 そ 他 その他	演習	1年次以上	2時間	2単位	身体的行動が現代の健康と社会の課題にどのように影響するかについての概要を示しています。
7402410A6	生活工学先端材 料論	大背戸 豊	生活環境科学系	前期 月曜日 1・ 2時限 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	生活の中には様々な新しい物質・材料が溢れ、日々の生活の質的向上に寄与している。本講義では、これら生活における実用材料の中でもその物性向上が顕著で、適用範囲が広がりつつある先端材料の機能発現の原理及び応用例について学ぶ。これら先端材料を学ぶことにより、先端材料を正しく評価、利用し、生活を素材・材料の視点から捉え直すための知識や考え方を獲得できる。本講義の修了により、日々の生活を支える先端材料を上手く利用できるための科学知識を活用できる力を涵養する。
7402420B6	生活工学先端材 料論演習	大背戸 豊	生活環境科学系	後期集中 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	生活の中の重要な役割を果たす適用範囲が広がりつつある先端材料の機能発現の原理及び応用例について正しく理解するためには、これらを用いた研究論文を正しく読み解くことが必要である。本講義では、先端材料の機能発現についての研究論文を講読し、内容について議論することで、多様な先端材料についてさらに学習・理解を深める。本講義の修了により、より深いレベルでの先端材料の実践的な見方を涵養する。
7402430A6	環境・エネルギー材 料設計論	山本 健太郎	生活環境科学系	前期 その他 そ 他 その他	講義	1年次以上	2時間	2単位	リチウムイオン二次電池などに代表される蓄電デバイスは人間の生活にとって必要不可欠なものであり、その中で使用されている電極材料の電子構造と電気化学特性との関係を正しく理解することは、新しい蓄電デバイスの性能を向上させる上で重要である。本講義では、固体の電子構造、表面反応、電極反応、X線吸収分光法などについての基本概念を説明する。その上で実用化されている蓄電デバイス内の電極材料について解説す
7402440B6	環境・エネルギー材 料設計論演習	山本 健太郎	生活環境科学系	後期 その他 そ 他	演習	1年次以上	30時間	2単位	環境・エネルギー材料に関する英語で書かれた最新の学術論文を複数報読み、その内容を要旨および発表会形式で紹介することを通じて、複数の研究を体系的に要約し定められた時間で発表することを学ぶと共に、関係する学問分野の最先端に触れる。
7402450A6	統合生体機能論	芝崎 学	生活環境科学系		講義	1年次以上	2時間	2単位	
7402460B6	統合生体機能論 演習	芝崎 学	生活環境科学系		演習	1年次以上	2時間	2単位	
7402470A6	人間情報学論	安在 絵美	生活環境科学系		講義	1年次以上	2時間	2単位	
7402480B6	人間情報学論演 習	安在 絵美	生活環境科学系		演習	1年次以上	2時間	2単位	
7402490A6	生体力学論	大高 千明	生活環境科学系		講義	1年次以上	2時間	2単位	
7402500B6	生体力学論演習	大高 千明	生活環境科学系		演習	1年次以上	2時間	2単位	

科目ナンバリングコード	開設科目名	担当教員	教員所属	開講期・曜日・時 限・教室	授業方法	対象学生	週時間	単位数	授業概要
7402510A6	超分子設計論	庄司 淳	生活環境科学系		講義	1年次以上	2時間	2単位	人の生活を豊かにするような材料を提供するためには、複数の分子やイオンが集合して機能を発現する超分子について理解することが必要である。本講義では、超分子の構造や機能に関する分子設計や研究方法について解説する。
7402520B6	超分子設計論演習	庄司 淳	生活環境科学系		演習	1年次以上	2時間	2単位	人の生活を豊かにするような材料を提供するためには、複数の分子やイオンが集合して機能を発現する超分子について理解することが必要である。「超分子設計論」での講義内容をもとに、超分子の構造や機能に関する分子設計や研究方法について理解を深める。
7403010B6	生活工学研究プロジェクトA	全教員	生活環境科学系	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	学生が主体的にプロジェクトにかかり、議論を重ねつつプロジェクトを推進することにより研究内容に対する理解を深めると共に、新しい研究コラボレーションの発展へ繋げる。
7403020B6	生活工学研究プロジェクトB	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	各受講生の関心に沿ったトピックを取り上げ、そのトピックに関わる生活上の問題の所在を明らかにした上で、研究目的・方法を設定し、必要な実験を行った上で、データを解析し考察を行う。得られた成果は学会にて発表することが望ましい。
7403030B6	生活工学研究プレゼンテーションA	全教員	生活環境科学系	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	博士論文として選定された研究テーマの妥当性、研究実施状況などを中間報告として纏めて報告するとともに、主指導教員・副指導教員から論文完成に必要な指導を受ける。
7403040B6	生活工学研究プレゼンテーションB	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	博士論文として選定された研究テーマの妥当性、研究実施状況などを中間報告として纏めて報告するとともに、主指導教員・副指導教員から論文完成に必要な指導を受ける。
7403050B6	生活工学特別ゼミナールI	全教員	お茶女/奈良女	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	生活工学に関わる工学および家政学分野の学問領域の有機的な統合をはかり、広い視野にたち、人間生活における諸問題についてゼミナール形式で学習する。
7403060B6	生活工学特別ゼミナールII	全教員	お茶女/奈良女	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	学生が主体的にプロジェクトにかかり、議論を重ねつつプロジェクトを推進することにより研究内容に対する理解を深めると共に、新しい研究コラボレーションの発展へ繋げる。
7403070B6	生活工学特別ゼミナールIII	全教員	お茶女/奈良女	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	博士論文として選定された研究テーマの妥当性、研究実施状況などを中間報告として纏めて報告するとともに、主指導教員・副指導教員から論文完成に必要な指導を受ける。
7403080B6	生活工学デザインワークショップ（LIDEE実践）	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	現在「デザイン」は物理的な造形行為を超え、技術や社会、生活を含めたイノベーションの核として位置づけられている。そのための方法論として、チームで課題に取り組み、社会や生活に対して新しい価値の創造を目指す、文理融合・問題解決型の社会の様々な問題をテーマとしたワークショップが有効である。本講義では、そのような問題を解決する具体的なデザインを提案するための「ワークショップのデザイン」を企画立案するファシリテーションを行う。
7403090B6	生活工学3Dデジタルデザイン演習	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	具体的な製品を設計する為にCAD能力を身につける。加えて、3DプリンタやNC工作機械による試作製造演習も実施する。実習に並行し加工材料（金属、樹脂など）に関する知識も学ぶ。機械工作現場の見学も実施することで、物作りの環境を肌身で感じ取る。
7403100B6	生活工学3Dデジタルデザイン演習	生活工学共同専攻教員（お茶大）	お茶の水女子大学	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	15時間	1単位	具体的な製品を設計する為にCAD能力を身につける。加えて、3DプリンタやNC工作機械による試作製造演習も実施する。実習に並行し加工材料（金属、樹脂など）に関する知識も学ぶ。機械工作現場の見学も実施することで、物作りの環境を肌身で感じ取る。
7403130B6	インターンシッププロジェクト	全教員	お茶女/奈良女	不定期 その他 その他 その他	演習	1年次以上	30時間	2単位	生活関連企業・研究機関・官公庁にてインターンシップを行い、報告会にて研修内容を発表する。研修終了後はレポートを提出するとともに、報告会にて研修内容を発表する。研修内容に関しては、生活工学の課題とする「いのちを守るデザイン」「持続可能性のデザイン」に関する企業、団体等でのインターンシップを行う事により、生活工学の研究成果の社会貢献や社会・生活への展開について学び、実践能力を養う。実習期間は最低2週間とする。主に奈良女子大学の研究課題（素材、情報、建築、環境）の関連施設等へのインターンシップとする。
7400000F6	生活工学特別研究（博士）	全教員	お茶女/奈良女	その他 その他 その他 その他	論文指導	1年次以上		10単位	学生は指導教員と良く相談の上、自らの研究テーマを決め、テーマに関する関連論文の講読や学習を通して、実験・測定・解析などを行う手法を学び、科学的な態度で研究を遂行する態度を養う。国内外の関連学会発表、国内外の関連学会論文作成を行う。また、それらの成果を博士論文としてまとめ、提出・発表する。教員は、これら各段階における適切な講義・アドバイス・実験・測定等の教授活動を通して、研究が円滑に行われ、科学的に解析し、成果を様々な形で社会に発信できるよう、指導と援助を行う。